

コミュニティ・スクールの運営・意識・取組等に関するアンケート（概要）

- ・コミュニティ・スクール（以下、「CS」という。）導入の推進に向け、現状及び課題等を把握するため実施。
- ・実施時期：令和2年（2020年）10月12日（月）～10月19日（月）
- ・対象校：令和2年度までにCSを導入している高等学校（20校）

① CSを導入した経緯（複数回答、上位3位までの項目）

項目	回答数
学校改善に有効と考えたから	18
地域学校協働活動の活性化に有効と考えたから	16
学校を中心としたコミュニティづくりに有効と考えたから	16
教育課程の改善・充実に有効と考えたから	14

② CS導入により実感している成果（複数回答、「とても当てはまる」と「まあ当てはまる」の合計上位3位までの項目）

項目	回答数
地域と連携した取組が組織的にできるようになった	19
教職員の意識改革が進んだ	17
地域が学校に協力的になった	17
特色ある学校づくりが進んだ	16

③ CS導入の総合満足度（0が不満足～10が満足）

点数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
校数	0	0	0	0	1	3	3	4	4	2	3

④ CSの効果的な運営のために重要だと思うこと（複数回答、上位3位までの項目）

項目	回答数
CS担当コーディネーター（地域学校協働活動推進員等）が配置されること	13
CSの委員として適切な人材が確保できること	12
教職員がCSの意義を十分に理解していること	8

⑤ CS導入上の課題（2つ以内選択、上位2位まで）

項目	回答数
協議会委員の選定	16
業務の負担増加	13

コミュニティ・スクールの運営・意識・取組等に関するアンケート (集計結果)

1 アンケートの目的

C S 導入の推進に向け、現状及び課題等を把握するため。

2 実施時期

令和 2 年（2020 年）10 月 12 日（月）～10 月 19 日（月）

3 対象

令和 2 年度までに C S を導入している高等学校（20 校）

学校名	導入年月日
北海道別海高等学校	平成 24 年（2012 年）5 月 9 日
北海道栗山高等学校	平成 29 年（2017 年）9 月 27 日
北海道寿都高等学校	平成 29 年（2017 年）9 月 27 日
北海道夕張高等学校	平成 30 年（2018 年）4 月 1 日
北海道追分高等学校	平成 30 年（2018 年）4 月 1 日
北海道美瑛高等学校	平成 30 年（2018 年）4 月 1 日
北海道清里高等学校	平成 30 年（2018 年）10 月 1 日
北海道上士幌高等学校	平成 30 年（2018 年）10 月 1 日
北海道下川商業高等学校	平成 31 年（2019 年）4 月 1 日
北海道豊富高等学校	平成 31 年（2019 年）4 月 1 日
北海道興部高等学校	平成 31 年（2019 年）4 月 1 日
北海道鹿追高等学校	平成 31 年（2019 年）4 月 1 日
北海道幕別清陵高等学校	平成 31 年（2019 年）4 月 24 日
北海道登別青嶺高等学校	令和 2 年（2020 年）4 月 1 日
北海道平取高等学校	令和 2 年（2020 年）4 月 1 日
北海道上富良野高等学校	令和 2 年（2020 年）4 月 1 日
北海道常呂高等学校	令和 2 年（2020 年）4 月 1 日
北海道大樹高等学校	令和 2 年（2020 年）4 月 1 日
北海道広尾高等学校	令和 2 年（2020 年）4 月 1 日
北海道本別高等学校	令和 2 年（2020 年）4 月 1 日

4 質問と集計結果

Q 1 C S を導入した経緯についてお聞かせください。 次の 1～15 から、当てはまる番号をすべて選んでください。 「その他」を選択した場合には、番号を記入すると共に、（ ）に具体的に記述してください。	
項目	回答数
1. 首長のマニフェストや政策方針などに明記されていたから	2
2. 住民からの要望があったから	2
3. 近隣の自治体で導入があったから	3
4. 地教行法で設置が努力義務となったから	5
5. 学校統廃合に伴う教育の活性化に有効と考えたから	6
6. 学校改善に有効と考えたから	18

7. 教職員の意識改革に有効と考えたから	10
8. 学校評価の充実に有効と考えたから	13
9. 教育課程の改善・充実に有効と考えたから	14
10. 生徒指導上の課題解決に有効と考えたから	4
11. 地域学校協働活動の活性化に有効と考えたから	16
12. 震災等、災害発生時の学校対応力向上に有効と考えたから	2
13. 学校を中心としたコミュニティづくりに有効と考えたから	16
14. 先に地域学校協働本部等に取り組み、その実績でCSに発展できると考えたから	3
15. その他	2

Q2 CSの導入によって、実感としてどのような成果が得られましたか。次の選択肢から当てはまる番号を1つ選んでください。「わからない」場合は、無回答で結構です。

項目	とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
1. 特色ある学校づくりが進んだ	6	10	2	0
2. 教育課程の改善・充実が図られた	2	9	5	1
3. 生徒の学習意欲が高まった	3	6	5	1
4. 生徒の学力が向上した	3	2	7	3
5. いじめ・不登校・暴力など生徒指導の課題が解決した	0	1	10	3
6. 教職員の意識改革が進んだ	1	16	1	0
7. 教職員が生徒と向き合う時間が増えた	1	2	11	2
8. 適切な教職員人事がなされた	0	3	8	4
9. 学校関係者評価が効果的に行えるようになった	7	9	1	1
10. 学校と地域が情報を共有するようになった	11	9	0	0
11. 学校が活性化した	3	12	2	0
12. 地域が学校に協力的になった	4	13	1	0
13. 地域の教育力が上がった	4	7	4	0
14. 地域が活性化した	3	7	5	0
15. 地域と連携した取組が継続的に行えるようになった	8	11	0	0
16. 保護者が学校に協力的になった	2	7	7	0
17. 家庭の教育力が向上した	0	3	10	2
18. 学校に対する保護者や地域の理解が深まった	4	11	4	0
19. 保護者や地域からの苦情が減った	2	3	10	1
20. 保護者・地域による学校支援活動が活発になった	3	12	3	0
21. 校長のリーダーシップが向上した	7	8	2	1
22. 管理職の異動があっても継続的な学校運営がなされた	4	6	3	1
23. 学校の組織力が向上した	2	7	7	1
24. 生徒の安全・安心な環境が確保された	4	4	8	0
25. その他	0	0	0	0

Q 3 Q 2 で回答した成果を踏まえ、CS の総合満足度（0 が不満足～10 が満足）を校長の立場からお聞かせください。										
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0 校	0 校	0 校	0 校	1 校	3 校	3 校	4 校	4 校	2 校	3 校

Q 4 CS の効果的な運営のため（形骸化させないため）には、どのようなことが重要だと思いますか。該当するものをそれぞれ以下から 3 つ以内選んで、回答欄にその番号を記入してください。「その他」を選択した場合には、番号を記入すると共に、（ ）に具体的に記述してください。	
項目	回答数
1. 教職員の任用に関する意見申出について柔軟な運用を可能にすること(規定の見直し含む)	0
2. 地域学校協働本部等との一体的推進を図ること	5
3. 類似制度から学校運営協議会への移行を支援すること	1
4. 教育委員会事務局職員による定期的なアドバイス	2
5. 他の導入校に関する情報提供	0
6. CS 担当コーディネーター（地域学校協働活動推進員等）が配置されること	13
7. CS の委員として適切な人材が確保できること	12
8. 教職員の多忙感が解消されること	6
9. 実践者の派遣と継続的な助言を得ることができること	1
10. 「育てたい生徒像」が明文化・明確化されていること	4
11. CS における教職員・地域住民・保護者の役割分担が明確になっていること	4
12. 教職員が CS の意義を十分に理解していること	8
13. 毎年度、活動内容を改善するための評価や自己診断ができること	2
14. その他	1

Q 5 実際に導入した経験上、CS を導入する上での課題としてどのようなことが考えられますか。該当するものをそれぞれ以下から 2 つ以内選んで、回答欄にその番号を記入してください。	
項目	回答数
1. 業務の負担増加	13
2. 協議会委員の選定	16
3. 学校評議員との違いが不明	2
4. 既に地域や保護者の協力を得られており、すみ分けに苦慮	5